

MEDICAL NOW

2013
No.74

Vascular

SCORE RSM の 下肢インターベンションでの意義 —岡村病院様—



岡村 高雄 院長



岡村病院 外観

—血管撮影システムTriniasをどのようにお使いですか？

当院では、基本的に下肢血管病変の診断の場合はエコーを主体としており、場合によってCTを使用しています。アンギオ装置は治療用という位置づけで使用しています。手技別の割合で言いますと、下肢インターベンションが8割、心臓のインターベンションは2割程度で使用しております。

数字でもお分かりのように当院では下肢インターベンションに力を入れており、大腿動脈だけではなく膝下動脈以下の完全閉塞病変のような複雑病変に対しても積極的にインターベンションを行っています。特に完全閉塞病変では真腔を見極めるために、エコーガイド下でワイヤー操作を行っており、この点は他の施設さんと比較しても特徴的だと思っております。

岡村病院様（高知県高知市）は、内科、外科、心臓血管外科など11診療科を標榜し、病床数145床を有する総合病院です。1946年に岡村外科として開設され、1953年に医療法人岡村会岡村病院となりました。「高度な技術を持って地域社会に貢献する」を基本理念とし、患者様のことを第一に考え、機能面、構造面また環境面においてもより良い治療環境を目標とされています。

2012年12月より心臓・下肢インターベンション用の血管撮影システムとしてTrinias F12 packageをご使用いただいております。特に、重症虚血肢（CLI）を含む高度な下肢インターベンションにも注力されており、SCORE RSMに対し大変ご評価いただいております。今回はTriniasシステムの有用性、特にSCORE RSMにクローズアップしてお話を伺いました。

また、島津のアンギオ装置に標準的についでいる画像ソフトSCORE RSMは、通常のDSAとは異なり、カテ台を動かしても、微細血管までくっきりと描出できるので多用しております。



Fig.1 血管撮影システムTrinias F12 package

—SCORE RSMについてももう少しお教えてください。

導入前の説明でこの機能を知りました。正直なところ、この機能があるから鳥津を選んだと言っても過言ではありません。実際に、下肢インターベンションの全症例でSCORE RSM撮影を行っており、この機能があれば全ての下肢インターベンションが可能と考え、大変重宝しております。

何が良いかと言うと、まず、描出能力です。画像がDSAとほとんど変わりません。特に重症虚血肢の患者さんでは痛みの為にカテーテル台上で安静を

保つことができない困難な症例がたくさんありますが、このような体動のある患者さんでも微細血管の詳細な情報を逃さず描出できております。また側副血行路の状態の把握にも非常に有用です。マスク撮影が不要で、患者さんの骨情報が残りますので位置情報も分かり易い点が実際の治療にとっても有用です。特に重症虚血肢では、骨の情報があると側枝のどの部分にどれだけの血流が通っているかを正確に把握できるため、大変役立っております。

症例

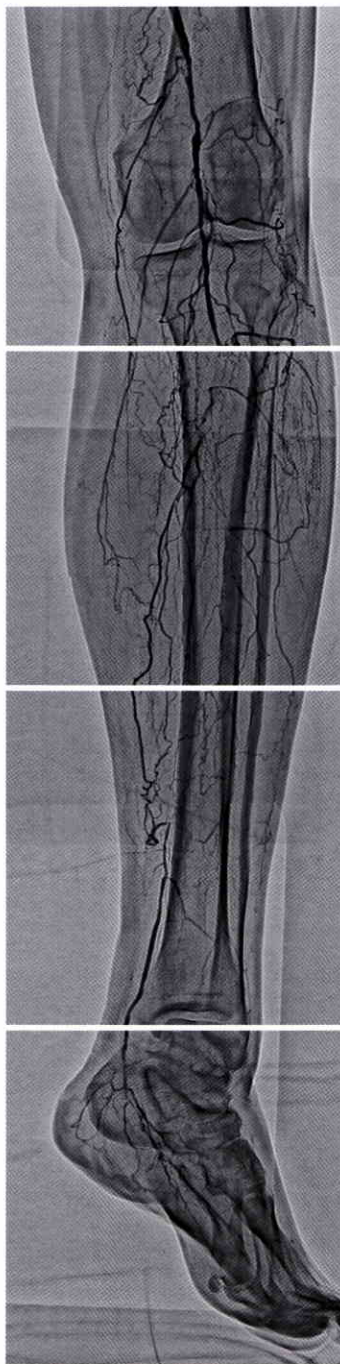


Fig.2 SCORE RSMによる下肢造影
末梢まで均一な濃度で描出されている。

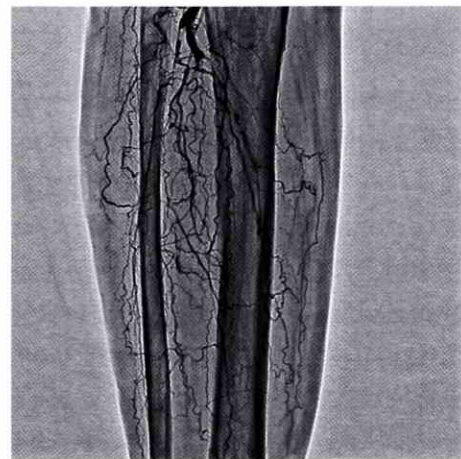


Fig.3 SCORE RSMにより重症虚血肢における
側副血行が明瞭に描出されている。

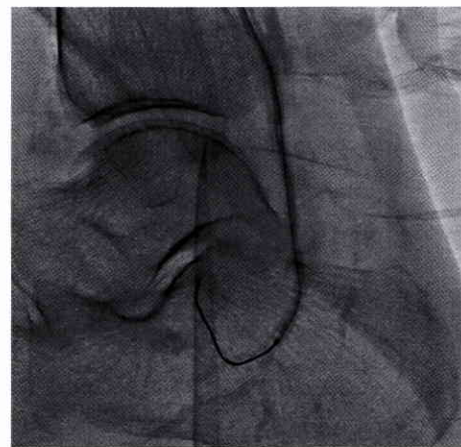


Fig.4 PPI時の透視画像(4.5インチ)

—その他にTriniasで良いと思っておられる点がありますか？

フラットパネルの視野サイズがとてもいいです。最初にも申し上げましたが当院では下肢だけではなく心臓のインターベンションでも使用しています。そうなりますとあまり大きなフラットパネルでは困りますし、特に心臓に特化した小さいサイズでは下肢では使いにくいこととなります。その点では12インチ視野のFPDは当院の使い方にはぴったりだと思っております。下肢全体の撮影を行う場合に両下肢を同時に撮影することも可能ですし、大きいサイズの視野であればワイヤーの先端位置を逃すことなく、ワイヤーによる血管穿孔等の合併症軽減にも役立つと思っております。

また、Cアームは床置き式ですが長手方向に動いてくれますので、心臓検査・治療の後に患者さんの位置をそのままにして下肢の造影も行える点がメリットです。

また今回の導入において既存のカテーテル室を大幅に改造する必要もなく、撮像範囲の広い装置を設置できて大変よかったと思っております。

—アンギオ装置で新しいアイデア・ご要望等ございましたらお教えてください。

特に完全閉塞病変において、血管の石灰化をより明瞭に描出可能となる、もしくは血管が分かるというような機能があれば良いと思います。さらにはEVT前後に撮影したアンギオ画像上で血流量の測定・評価が可能なソフトが開発できれば嬉しいと思っております。

—ありがとうございました。

症例

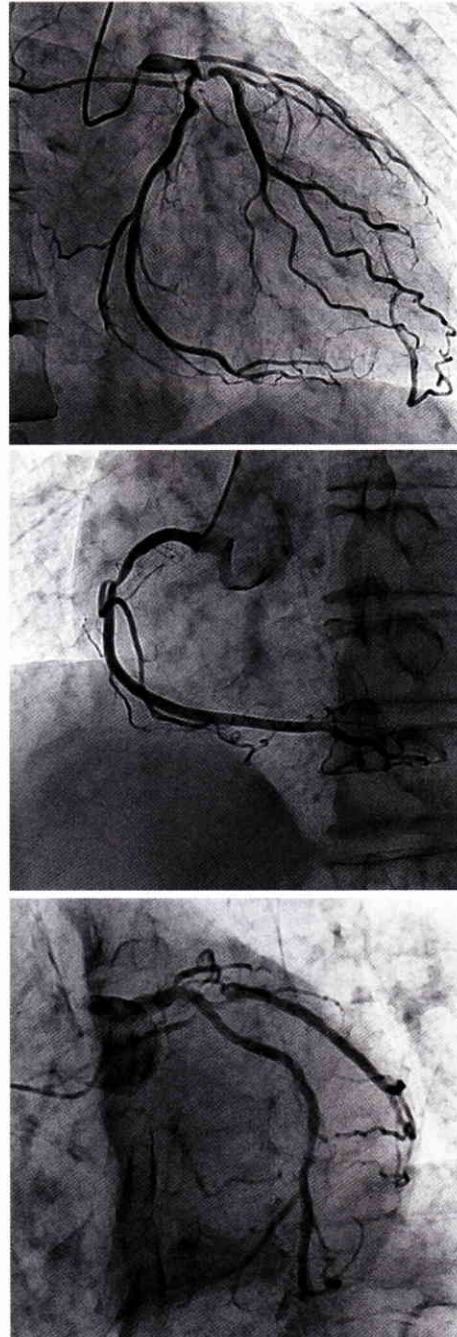


Fig.5 CAGにおいてもコントラストの良い画像が描出されている。

Triniasは(株)島津製作所の商標です。
製造販売承認番号

224ABBZX00053000	据置型デジタル式循環器用X線透視診断装置 [血管撮影システム Trinias]
------------------	--